

# 若手・中堅漁業者に聞く!

## 未来へのホンネ



4

アンケート参加漁業者の間では資源が減っているという意識で共通しているが、資源回復を指す水産改革へ期待より不安が勝る人や改革の存在を知らない人も目立った。インタビューでも資料管理の強化を疑問視する声があった。ただ、漁が最多54%で、「政府・



刺網漁を営む阿部氏

業者主導の資源管理の限界を訴え、行政主導の管理を求める声も複数あった。第1回の通り、アンケート回答者の44%は水産改革の存在自体を知らなかった。改革についての情報源は「漁協・漁連」が39%、「新聞・雑誌・書籍」が29%。インタビューでは、改革の存在を知る漁業者が「組合長が漁協役員に教えてくれる」(匿名)、(漁協支所の)青年部

られる。裏返せば、一般の漁業者にはより改革が周知されていない可能性がある。ただし「漁協も、改革内容がまとまっている段階で具体的に話せない」という不確実性もある。山口県で底引網を営む濱田英樹氏は「漁獲規制が必要」との意見を述べた。データが間違っていないなら、対策が必要と思うが、漁業規制ばかり強めても地球レベルの環境変化には逆らえない」と語った。「現在も休漁期間はある

た。不確実性があるとはいえず、科学が軽んじられざる問題提起も、「主対象魚種が激減した。特に発言力ある年配層の興味は低さは複数指摘された。一方で「自分から漁業者は少ないだろう。行政がまとめて保障してくれたいと思う」(匿名・山口県)と行政のリードを求める声もみられた。

# 回復へ改革意図の浸透必須

## 資源管理 行政主導求める声も

で水産庁を呼んで改革について聞いたが、地方の支所は知らないだろう(阿部誠二氏)宮城県、(刺網)と証言。改革の情報伝達は感度の高い地域や漁協の中心人物、ニュースをよく見る人などに限られていそうだ。アンケート回答者は県漁連・漁協などから募ったため、漁協の中心人物が比較的多かったと考え

より、「漁業規制が厳しくなると漁業者の収入がしぼく減る」(43%)など不安の方が大きい結果となった。インタビューでは「改

「以前、地元の若手漁業者で対象魚種のサイズ規制を提案したが、年配者には議論の余地がなかった。識者を通じ資源(匿名・山口県)などだ。科学が受け入れられないと思う」(匿名・引網)などと続いた。

が客観的に資源状態を見て措置を決めているわけではないので行政が主導を(阿部氏)、「漁業許可を与える行政と研究機関が強く立ち入らないと、資源の減少は止まらないと思う」(匿名・引網)などと続いた。

資源管理の改革の趣旨が現場に伝わっていない背景は①漁業者の立ち位置次第で改革について得られる情報が違②科学

の不確実性が科学的な漁業管理への不安につながり空気があることなると③漁業者の科学的意図が絡み得る④科学的管理を訴えたい漁業者が一定数いるがリーダー層に

(匿名でないと)言いづらいため、場面ごとで複合的に、場面ごとで違つうだ。今回は、管理強化に向けた不安や懸念をさらに深掘りする。(東京支社・太田毅人)

あなたの獲る魚介を将来も海に残し獲り続けるために、あなたや同業の漁業者は、皆でどのようなことに取り組む(協力する)必要があると思いますか

|                                   | 全く必要だと思わない | 必要だと思わない | どちらともいえない | 必要だと思う | とても必要だと思う | 合計 | 加重平均 |
|-----------------------------------|------------|----------|-----------|--------|-----------|----|------|
| ①漁獲データを行政や研究機関と共有する               | 0.00%      | 0.00%    | 18.00%    | 58.00% | 24.00%    | 50 | 4.06 |
| ②漁獲努力量(出漁日数・時間や網入れ回数など)を減らす       | 2.00%      | 16.00%   | 34.00%    | 30.00% | 18.00%    | 50 | 3.46 |
| ③漁法や漁具を制限する(制限を強める)               | 4.00%      | 26.00%   | 28.00%    | 30.00% | 12.00%    | 50 | 3.20 |
| ④漁獲量を制限する(制限を強める)                 | 2.00%      | 16.00%   | 40.00%    | 26.00% | 16.00%    | 50 | 3.38 |
| ⑤価格の付かない小魚などを逃がす                  | 4.00%      | 4.00%    | 16.00%    | 40.00% | 36.00%    | 50 | 4.00 |
| ⑥資源量の減っていない魚種を狙う                  | 4.00%      | 10.00%   | 52.00%    | 28.00% | 6.00%     | 50 | 3.22 |
| ⑦魚介に付加価値をつけ、多く獲らなくてもよいようにする       | 2.00%      | 2.00%    | 20.00%    | 40.00% | 36.00%    | 50 | 4.06 |
| ⑧魚を獲る代わりに環境保全や調査活動等をして、政府からお金をもらう | 2.00%      | 10.00%   | 36.00%    | 40.00% | 12.00%    | 50 | 3.50 |